

戸木だより

津市立戸木小学校だより

2021. 2. 15 No.22

避難訓練 ～自分の命を守る行動をする～

12日、地震災害に備える避難訓練をしました。今年には東日本大震災が起きてから10年目です。10年経っても先日大きな余震がありました。三重県に大きな被害を出した南海地震から75年が経過し東南海地震の発生も懸念されています。「災害は忘れたころにやってくる」といわれるように、過去の教訓を生かして日頃から備えることが大切です。避難訓練もその一つです。基本的な避難の仕方を身につけ、それを応用してどんな状況でも自分の命を守る行動がとれるように訓練をしていくことが大切です。ご家庭でも、この機会に地震の際の避難についてお子様とご確認ください。

【避難訓練での話から】

日本は、地震の多い国です。26年前に阪神淡路大震災が起きて、6千人以上の方が、10年前の東日本大震災では、2万人以上の方が命を落としました。地震はいつどこで起きるかわかりません。だから避難訓練で一番大切なことは、真剣にすることです。まず、揺れが収まるまで机の下に入るなど物が落ちてきても頭を守るように身を守る行動をし、放送をよく聞き、避難する場所を確認しましょう。廊下や階段では、おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない 「お・は・し・も」に気をつけて、すばやく行動するようにしましょう。割れたガラスなどでけがをしないように、家にいる時もはだしで逃げないようにしましょう。ヘルメットがない時は、頭を守るために近くにあるもので頭を守りましょう。家に帰ってから遊んでいるときや帰り道に地震が起きる場合もあります。どうすればいいのか指示してもらえない場合もあります。そのためには自分でどうすれば安全かを考えることが大切です。周りを見て、「**ものが、落ちてこない・倒れてこない・動いてこない場所**」に避難しましょう。また海の近くでは、津波が来ることがあります。早く高いところに逃げる必要があります。東北地方では、津波などから命を守るために「津波てんでんこ」「命てんでんこ」という言葉があります。危険な時は、それぞれが自分の判断で命を守るために素早く避難するということです。おうちの人ともいろいろな場合に地震が起きることを考えて避難の方法や避難場所を確認しておきましょう。

戸木小学校の周辺のハザードマップ

津市のハザードマップによると、戸木小学校は、海拔15.3mの地点なので津波のハザードマップには入っていません。ため池のハザードマップでは、風早池が決壊すると水深が0.5m未満（大人の腰までつかる）の地域になります。また、土砂災害ハザードマップでは、駐車場の北側が土砂災害警戒区域（急傾斜面地）に入っています。

